



朱雀の翼

創造する力を育むこと



創造する力は、単に新しいものを生み出すことでなく、人生をより豊かにし、世界を前進させるための根源的なエネルギーです。その素晴らしさは、多岐にわたる側面から見出すことができます。

10月のテーマは、「創造」です。

創造する力は、問題解決の原動力となります。既存の枠組みにとらわれず、多角的な視点から物事を捉えることで、誰も思いつかなかったような解決策やアイデアを生み出します。そして、私たちの知的好奇心を刺激し、新しい学びや気づきは、多様な分野からの知識やアイデアをさらに吸収しようと意欲を駆り立てます。この探究心こそが、創造力の源となります。

何かを創り出す過程は、感情を表現する機会を与え、私たちに大きな喜びと充実感を与えます。自己表現の手段として、内面からわきでる感情や好奇心との対話を可能にします。喜びや悲しみ、怒りといった感情を作品や活動に昇華させることで、自己を深く理解し、感情をコントロールする力を育みます。

創造的な活動に没頭する時間は、人生に確かな意義と幸福感をもたらす魔法のような体験となるでしょう

創造的な活動は、他者との共同作業を通じて、より大きな価値を生み出すことがあります。お互いのアイデアに刺激を受けて、協力して1つのものを創り上げる経験は、人とのつながりを深め、コミュニティを活性化させます。皆さんも、合唱をつくりながら経験値が上がったことでしょう。

現代社会は、常に変化し、新たな課題を生み出しています。創造する力は、こうした未知の状況に対応し、新しいシステムや価値観を生み出すために不可欠なものです。創造的な発想は、個人だけでなく、社会全体のイノベーションを促進する力となるのです。

創造する力を育むために

創造力は、特別な才能ではなく、誰にでも備わった能力です。いろいろな習慣が、その力を開花させる鍵となります。好奇心をもつ、恐れずに挑戦するいつもの習慣と違うことをやる、アイデアを記録してみると創造力が磨かれるかもしれません。

創造力は、私たちの人生に彩りを添え、可能性を広げてくれる素晴らしいものです。日常生活の小さな工夫から、その力を意識的に使ってみましょう。

合唱コンクールがもたらすもの♪

合唱コンクールという行事が重要なのは、音楽的なスキルの向上だけでなく、協調性、自主性、達成感を体験できることです。クラスの人たちと一緒に1つの目標に向かって努力し、成功や失敗を分かち合う過程を通じて大きく成長することができ、その成功体験は、今後の豊かな人生をつくるために大事なことです。

もしかしたら、合唱コンクールは、中学時代だけかもしれません。「その瞬間」を味わえましたか？

協調性と 一体感

パートごとの分担
お互いの声を聴く
ハーモニーづくり
他者理解

自主性と リーダーシップ

生徒同士による役割
指揮者、伴奏者
パートリーダー
実行委員

達成感と 自己肯定感

練習の成果
みんなと喜びや感動を
共有する
達成感を味わう

表現力と 感受性

曲にこめられた想い
声や表情で表現する
豊かな感受性が
育まれる

合唱コンクールは、単なる歌のイベントではなく、生徒1人1人が成長する貴重な行事なのです。



美術部作成

今年度も、タクトホームこもれび GRAFARE ホールで柳沢中生のすばらしい合唱を披露することができたことは大変喜ばしいです。柳沢中生の歌声を誇りに思っています。

歌は、いつも私たちの傍に存在しています。嬉しかった時、悲しかった時、盛り上げたい時、元気になりたい時に聴いた歌。その歌を聴くと、その時のことがよみがえる経験をしたことがある人もいることでしょう。懐かしくなって、その時に引き戻されるような感じになる、あの不思議な経験をする、その歌を何回も聴いたことがわかります。今年度も課題曲や自由曲が思い出の曲になった人もいることでしょう。

歌は、人々の心を揺さぶる大きな力をもっています。今回の合唱コンクールでも、一生懸命に歌う人たちと一生懸命に聴く人たちの心が1つになり、感動の渦がわき上がり、また、新しい伝説が生まれたのではないのでしょうか。

開催に際して、たくさんの人たちが携わって努力してきたことに感謝して、その感謝の気持ちを心に留めながら合唱コンクールを振り返ってみてください。

さて、皆さんは、今回の合唱コンクールに向けてどのような取り組み方をしてきたでしょうか。自分なりに自己の成長を確認して、頑張った自分をほめてあげましょう。そして、また新たな目標を考えていきましょう。



「ハーモニーあい」さん



学年合唱



教職員合唱



進路を考える

合唱コンクールが大成功に終わり、振り返りをして一息ついた頃ですが、急激に秋が深まり、気温の変化も重なって、体調を崩している人が多いようです。期末考査までは25日以上あり、授業は落ち着いて受けてはいるものの、気持ちの切り替えがうまくできている人はどのくらいいるでしょうか。なかなか期末考査の準備に向けて、切り替えがうまくいかない人がいそうですね。

質の高い睡眠と、栄養、そして「継続は力なり」、授業を大切に受けて、学力の貯金を積んでいきましょう。

この時期は、自分の進路について、考えるのいいと思います。義務教育終了後、上級学校（高等学校、通信制、専門学校など）に進む人が多いですが、みんなが高校に進むから、親が高校に行けと言うから、高校に進学することが普通だから・・・という理由だけでは心配です。

13、14、15歳なりに自分がどうしたいのかを考えることはとても大事なことです。年齢を重ねて、経験値も上がるにつれて、自分の考えが変容していくのは、当然です。将来の職業が決まらなくてもいいのですが、自分のいいところ、強み、自分がやりたいことなど自己理解を深めることは大事なことです。

とりあえず高校に進んで、とりあえず大学に進んで、やりたいことが見つければいいという考え方もありますが、最後は自分が納得した道に進んでいってほしいと願っています。

第2回進路説明会（10月22日開催）では、3年生の保護者だけでなく、1、2年生の保護者にもご出席いただき、ありがとうございました。

